

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和物流株式会社 門真物流センター新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府門真市北島東町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年2月14日
敷地面積	14,742 m ²	作成者	中村和晶
建築面積	7,726 m ²	確認日	2023年2月14日
延床面積	30,081 m ²	確認者	中村和晶



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

音環境	3.1
温熱環境	2.1
光・視環境	2.6
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.2
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	3.7
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8

水資源	3.4
非再生材料の	4.0
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	4.3
地域環境	3.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府門真市に建設される物流センターの計画である。内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用、耐用年数の長い材料の採用、高効率の機器を採用することで、環境性能だけでなく省エネ性能にも配慮している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、使用材料を削減することで、省資源に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0160

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大和物流株式会社 門真物流センター新築工事						
	建設地	大阪府門真市北島東町						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.7	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		